

災害派遣職員レポート

No.45 H23.7.28

陸前高田竹駒地区で活動している えびな北 安斉職員の報告

土曜日に出発して、昨日、涌井さんたちと申し送りを行いました。本日から、本格的に活動を始めました。聞くと見るでは大違いで、簡単にニーズなんて聞き取れるものではないです。本音なんてそう簡単に私たちに話せないですよ。

サロンは、決まった方が集まりますので、サロンに来ない方の困っていることに何かできないかと思って個別訪問しました。仮設住宅は日よけも無くて日差しが玄関・キッチンから差し込んでいました。

そこで思いついたのがえびな北で作った段ボールカーテン（居室のすだれ代わりに段ボールで作ったカーテン）です。2戸のお宅にさっそく作ってみました。

日が差さない。暗くなったと言われましたが、日差しを遮ることができたので暑さ対策になったと喜んでいただけました。

一番喜んでいただけたのが、お金がかからないってことでした。針金ハンガーでフックを作って窓の外側からかけ、付け外ししやすくしました。扱いやすさも喜んでいただけたようです。

さっそく、もう1戸のお宅からリクエストがあって、明日作りに伺う約束をしました。

何とか、こんなことをしながら被災地の方のお役に立てるように頑張って活動します。

菅原所長より

明るく元気な声で話してくださいました。安斉さんの行動力が素晴らしいです。また、えびな北の段ボールカーテンが被災地でも受け入れられたことが嬉しいです。